

## 経営方針の遂行管理をする仕組み創り

企業の進むべき方向は、その時々戦略に基づいて中長期あるいは単年度の経営方針として全社員に示される。ところが経営方針は非常に立派なものが出来たものの、期末になってみるとさっぱり成果が上がっていないことに愕然とするがある。その原因としては次のことが考えられる。

1. 誰がどのように実施するかという責任体制と計画が明確になっていない。つまり、いわゆる「絵に描いた餅」となっているためである。
2. 更にネックとなるのは推進の管理が意外と厄介なことにある。

経営方針で取り上げるほどの大きい問題では、実施計画ひとつとっても迅速に把握するのに苦労することがある。方針が誰によってブレークダウンされているのか、計画策定のタイミング・内容に問題はないかをいつでもリアルタイムに把握できる仕組みが欲しいところである。また実施状況も、作業レベルで足並みがそろっているか、方針全体としてどうなっているか、どこかに問題がないかをいつでも最新の状態で把握できることが、個々の問題を解消し「経営方針の遂行」のために是非とも必要だと考える。

このような要求は、従来のように経営企画室などの部署が各部から進捗状況を報告させ、全部揃うのを待ってから手作業で集計をして・・・ということでは、現状のような厳しい経営環境下ではとてもおぼつかない。そこで、BSOではこの問題を解消するためのツールとして、実施計画とその進捗状況をデジタルデータとして収集し、全てパソコン画面から最新の内容と進捗のチェックを行うことにしている。

- 1) 入力の実施担当者の分散入力を前提とする。
- 2) 計画と進捗状況の対比で見ることが出来る。
- 3) 実施計画は方針を含めて3レベルの計画で構成する。
- 4) 進捗度は下位から上位へ集計・積み上げして参照できる。